



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 松井 優子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 松井 優子

【指導者】

聖路加国際病院 呼吸器内科 今井 亮介

聖路加国際病院 呼吸器内科 西村 直樹

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 高橋 理

COVID-19 入院患者の方を対象とした

発熱パターンに関する研究

1.研究の対象

2020年3月1日から2021年8月23日までにCOVID-19の診断で入院となり、入院時に酸素投与の必要がなかった、もしくは、入院して24時間以内に酸素投与の必要がなくなった方

2.研究の目的・方法

COVID-19の方は、ほとんどが自然経過で軽快しますが、重症化し酸素の投与が必要になることがあります。特に38°C以上の発熱が数日持続した方で、重症化をたびたび経験します。これまでに行われたある研究では、7日間以上継続する38度以上の発熱が死亡率上昇や低酸素血症増加、ICU入室や人工呼吸器管理の必要性と関連していることが報告されていますが、発熱のパターンと重症化リスクの関連について検討した研究はその他にはありません。そこでこの研究では、発熱パターンとCOVID-19重症化との関連を検証することを目的とします。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- ・ 氏名、ID、性別、生年月日、合併症・既往歴
- ・ COVID-19に対して行った治療
- ・ 血液検査・心電図・胸部単純X線・胸部単純CT
- ・ 酸素需要の発生、低酸素症、ICU入室、人工呼吸器管理、死亡、合併症
- ・ 体温 脈拍、呼吸数、酸素飽和度（SpO₂）、収縮期血圧・拡張期血圧・日内最高体温、最低体温・酸素需要の有無・酸素投与した場合の投与方法・投与量 等

5.研究組織

聖路加国際病院 松井優子

聖路加国際病院呼吸器内科 西村直樹・今井亮介

聖路加国際病院一般内科・聖路加国際大学臨床疫学 HTA センター 公衆衛生大学院 高橋理